



大阪日々新聞紙

第十号

武藏八王寺宿之日野駅の間道の原を稼ぐ

人力車曳と原の央の茶店の王と馴合ひ往來の金を

車ふ乗せあへ引込追剽追落しを斤年業とし

或日旅人の大金を取り二合とけり其場あて茶

店の亭主の悪心倍増し人力車夫を切害し

死骸の仕舞を又外あつ人力車夫金を奪取を

云々西人あて埋め此人力車夫も生かすを置か

一大事と心の渡茶林大舟る釜の地々の

修羅野湯又赤教し此上ハ岸を

らつてのらつしと金残らば取掠え

逃るは元薄氷を踏破る

天網おかぬ夏目ハ逃るは瞬

くらあ縛め付と云々

人力のあつる千里も

とやれどと場の津人

とやれどと場の津人



中野政三郎

協賛者

